



2008年漁業センサス
海面漁業調査

漁業経営体調査票Ⅱ
(会社用)

平成20年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 記入に当たっては、「漁業経営体調査票Ⅱ（会社用）の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 調査票の内容については、本年（平成20年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成19年11月1日から平成20年10月31日までの1年間について記入してください。

【統計調査員】	月 日 ()
氏 名 :	午前・午後 時ごろに
電話番号 :	調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。

《市町村連絡先》

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区 都府県 (支庁) 市区町村 漁業地区 調査区 漁業集落 客体番号
□□ - □□ - □□□□ - □□□□ - □□□□ - □□□□ - □□□□

市区町村名

漁業地区名

漁業集落名

本社名

本社所在地

都	道	市
府	県	区
		町
		村

事業所名

2～6ページは、事業所について記入してください。

I 事業所の概要

1 本所・支所の区分と会社の種類

それぞれ当てはまる番号を一つ〇で囲んでください。

(旧有限会社は、株式会社に含めます。)

	本 所 ・ 支 所 の 区 分			会 社 の 種 類	
	単独事業所	本所・本社	支所・支社	株 式	その他
801	1	2	3	1	2

2 11月1日現在の従業者数

漁業と漁業以外も含めたすべての従業者数を記入してください。

(本所・本社の場合は、支社・支所を含めた従業者数ではなく、本所・本社のみ
の従業者数を記入してください。)

数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

II 漁業の従業者

1 海上作業の従業者数

(1) 11月1日現在の海上作業の従業者数を記入してください。

(人)

計 ①+②		201			
日 本 人 ①		202			
居 住 地	同 一 市 町 村	203			
	その他の県内	204			
	県 外	205			
うち、新規就業者		206			
外 国 人 ②		207			

新規就業者とは、調査期日前1年間に、漁業で恒常的な収入を得ることを目的に主として漁業に従事した者で、以下のいずれかに該当する者です。

- ・ 新たに漁業を始めた者（過去に漁業に従事していて、再び漁業を始めた者を含む。）
- ・ 他の仕事为主であったが、漁業が主となった者（他の産業に従事等）
- ・ 普段の状態が仕事を主としていなかったが、漁業が主になった者（学生等）

(2) ①の日本人のうち、過去1年間（平成19年11月1日～平成20年10月31日）に30日以上海上作業に従事した人数を記入してください。

(人)

		海上作業 従業者数		うち、居住地 が同一市町村	
		男	女	男	女
計	211				
15～19歳	212				
20～24歳	213				
25～29歳	214				
30～34歳	215				
35～39歳	216				
40～44歳	217				
45～49歳	218				
50～54歳	219				
55～59歳	220				
60～64歳	221				
65～69歳	222				
70～74歳	223				
75歳以上	224				

2 陸上作業の従業者数

過去1年間の漁業の陸上作業について、最盛期の従業者数を記入してください。

(人)

計	231			
男	232			
女	233			

Ⅲ 漁船

漁船を使用していない場合は次のページへ進んでください。

1 過去1年間に使用した漁船
当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
(借りた漁船も含めます。)

2 無動力漁船と船外機付漁船の隻数
使用した漁船のうち、11月1日現在で保有
している隻数を記入してください。(借りて
いる漁船も含めます。)

	動力漁船	船外機付漁船	無動力漁船	
301	1	2	3	

(隻)

無動力漁船	302	
船外機付漁船	303	

1台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、1隻を船外機付漁船とし、他は無動力漁船としてください。

3 動力漁船
【動力漁船についてのみ記入】

過去1年間に使用した動力漁船 (借りた漁船も含めます。)						11月1日現在で 保有している動力漁船			
ト ン 数 (小数点以下1位まで記入し、小数点2位以降は切り捨ててください。)						11月1日現在の保有の有無		過去1年間の出漁日数	販売金額が最も多かった漁業種類
						保有している	保有していない		
①						②		③	④
(トン) 小数点						いずれかに印		(日)	全国漁業種類番号を記入
401						1	2		
402						1	2		
403						1	2		
404						1	2		
405						1	2		
406						1	2		
407						1	2		
408						1	2		
409						1	2		
410						1	2		

借りている漁船は含め、貸している漁船は含めません。

出漁日数の数え方

- ・ 1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- ・ 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- ・ なお、遊漁船業は含めません。

4ページの全国漁業種類番号で当てはまる番号を記入してください。

Ⅳ 漁業経営について

1 過去1年間に行った、すべての漁業種類に○印を付けてください。

そのうち、販売金額が最も多かったもの一つは「①」、2番目に多かったもの一つは「②」としてください。

全国漁業種類番号

【網漁業】

底 び き 網	遠洋底びき網	101	
	以西底びき網	102	
	沖合底びき網 1 そうびき	103	
	沖合底びき網 2 そうびき	104	
	小型底びき網	105	
船びき網		106	
ま き 網	1 そうまき遠洋 かつお・まぐろ	107	
	1 そうまき近海 かつお・まぐろ	108	
	1 そうまき そ の 他	109	
	2 そうまき	110	
中・小型まき網		111	
刺 網	さけ・ます流し網	112	
	かじき等流し網	113	
	その他の刺網	114	
さんま棒受網		115	
大型定置網		116	
さけ定置網		117	
小型定置網		118	
その他の網漁業		119	

【はえ縄、釣、その他漁業】

は え 縄	遠洋まぐろはえ縄	120	
	近海まぐろはえ縄	121	
	沿岸まぐろはえ縄	122	
その他のはえ縄		123	
釣	遠洋かつお一本釣	124	
	近海かつお一本釣	125	
	沿岸かつお一本釣	126	
	遠洋いか釣	127	
	近海いか釣	128	
	沿岸いか釣	129	
	ひき縄釣	130	
	その他の釣	131	
小型捕鯨		132	
潜水器漁業		133	
採貝・採藻		134	
その他の漁業		135	

【海面養殖（種苗養殖含む）】

魚 類 養 殖	ぎんざけ養殖	136	
	ぶり類養殖	137	
	まだい養殖	138	
	ひらめ養殖	139	
	まぐろ類養殖	140	
	その他の魚類養殖	141	
ほたてがい養殖		142	
かき類養殖		143	
その他の貝類養殖		144	
くるまえび養殖		145	
ほや類養殖		146	
その他の水産動物類養殖		147	
こんぶ類養殖		148	
わかめ類養殖		149	
のり類養殖		150	
その他の海藻類養殖		151	
真珠養殖		152	
真珠母貝養殖		153	

2 地方選定漁業種類について

過去1年間で地方選定漁業種類の漁業を行った場合、行った漁業種類すべてに○印を付けてください。

地方選定漁業種類		○ 印 欄
種類名	番号	
さわら流し網	901	
まながつお流し網	902	
いかなご袋待網	903	
いか袋待網	904	
まながつお袋待網	905	
餌料いわし袋待網	906	
四つ手網	907	
あなごはえ縄	908	
ひき釣	909	
まきえ釣	910	
たこ一本釣	911	
たこつぼ縄	912	
いいだこつぼ縄	913	

地方選定漁業種類		○ 印 欄
種類名	番号	
はぜつぼ縄	914	
あなごかご縄	915	

養殖を行っていない場合は6ページの「4 過去1年間の漁獲物・収獲物の販売金額」へ進んでください。

3 海面養殖業

11月1日現在の養殖の状況について記入してください。

(1) 魚類養殖

養殖場の施設面積と使用している面積（魚類を放養しない面積は除きます。）を記入してください。

(m²)

借りている施設の面積も含めます。

		養殖場の施設面積	うち、使用している面積
		①	②
魚類養殖の合計	511		
うち、ぶり類	512		
うち、まだい	513		
うち、ひらめ	514		
陸上水槽	515		
うち、まぐろ類	516		

(2) ほたてがい養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

台数と1台の平均面積を記入してください。 百十(台)

台数	521	
----	-----	--

百十(m²)

平均面積	522	
------	-----	--

イ はえ縄

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

万千百十(m)

523	
-----	--

I の 1 の本所・支所の区分が「本所・本社」の場合に記入してください。

V 支所・支社も含めた会社全体について

1 支所・支社も含めた会社全体の従業員数

万 千 百 十 (人)

計	803								
常時従業員	804								
そ の 他	805								

2 資本金

当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

(株式会社については払込済み資本金の金額、その他については出資金の金額で当てはまる番号を○で囲んでください。)

	100 万円 未満	100 万 ¥	200 万 ¥	500 万 ¥	1,000 万 ¥	3,000 万 ¥	5,000 万 ¥	1 億 ¥	10 億 円 以上
806	1	2	3	4	5	6	7	8	9

3 漁業の専業・兼業

(1) 過去1年間に行った事業が漁業のみの場合は「2」、他の事業も行った場合は「1」に○印を記入してください。

	兼 業	専 業
807	1	2

「専業」の場合は「4 事業別の子会社数」へ進んでください。

(2) 過去1年間の総販売金額に占める漁業部門の割合について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	25% 未満	25～	50～	75% 以上
808	1	2	3	4

(3) 過去1年間に漁業以外に行ったすべての事業の事業所の数を記入してください。
そのうち販売金額が最も多かったものに「①」を記入してください。

事業所の数	販売金額が最も多かったものの①を記入
製造業	水産加工業 811
	そ の 他 812
卸売・小売業、飲食業	813
サ ー ビ ス 業	814
その他	冷蔵倉庫業 815
	そ の 他 816

(4) 自社用の冷凍・冷蔵工場数を記入してください。(寄託品を取り扱わない自社用の水産物を保存する冷凍・冷蔵工場数)

817		
-----	--	--

4 事業別の子会社数

事業別に子会社数を記入してください。

漁業		821		
製造業	水産加工業	822		
	その他	823		
卸売・小売業、飲食業		824		
サービス業		825		
その他	冷蔵倉庫業	826		
	その他	827		

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者 :

電話番号 :